猫種

ピクシーボブ

余分な指がある場合も含め、全ての爪を確認し、頑丈な登り場を設けます。ヤマネコのような外見でも野生猫の飼育は必要ありません。

07 · 11 · 2026



体格

中型〜大型

成猫の体重（kg）

引用した資料には記載なし

一般的な寿命（年）

13–15+ 年

被毛

短毛または長毛、斑点のあるタビー

原産地

アメリカ合衆国

品種情報は準備に役立ちますが、診断や治療指示ではありません。個別の計画は獣医師と相談してください。

調整できる一日の例

品種情報は準備に役立ちますが、診断や治療指示ではありません。個別の計画は獣医師と相談してください。

猫に合わせた毎日のリズム

予定時刻	ケア / 合意した量
08:00	食事と水
09:00	遊びと環境エンリッチメント · 5 min
13:00	食事と水
18:00	遊びと環境エンリッチメント · 5 min
20:00	食事と水

猫に合わせた毎日のリズム

日中に短い遊びを複数回行います。じゃらし、安全な探索遊びや知育フィーダーなどを使い、猫が捕まえたり休んだり離れたりできるようにします。安定した高所、隠れ場所、爪とぎを用意し、ひもや小さな部品は見守ります。

トイレは清潔で行きやすく、食事場所や騒がしい通路から離して設置します。目安として猫1匹につき1個に加えてもう1個を用意し、可能なら別々の場所に置きます。少なくとも毎日掃除し、休む・爪とぎ・隠れる・食べる場所を分けます。

食事と水

年齢や健康状態に合った総合栄養食を選び、1日の量は獣医療チームと相談します。猫に合う回数に分け、新鮮な水を食事とは別の届きやすい場所に置きます。品種の体重範囲からカロリーや食事量は計算できません。

薬と引き継ぎ

この猫に処方された薬だけを記録します。薬名、処方量、投与経路、間隔、食事との関係、期間、投薬した人と時刻を残し、次の投薬前に記録を確認します。飲み忘れや反応があれば病院へ連絡し、自己判断で倍量にしたり治療を変えたりしません。

睡眠と静かな休息

猫は昼夜を通じて複数回休み、年齢・健康・住環境でリズムが異なります。暖かく静かで行きやすく、邪魔されずに隠れられる休息場所を用意します。睡眠や落ち着き方が急に変わったら獣医師に相談します。

新生子猫・とても幼い子猫

出生後は獣医師または経験ある保護団体の計画に沿って、保温、授乳または安全な給餌、排泄、個体別の体重確認を行います。ぐったりする、冷たい、呼吸が苦しい、食べられない場合は早急に受診してください。成猫の予定でケアを遅らせてはいけません。

子猫：出生から1歳

子猫用総合栄養食、年齢に合った頻回の食事、安全な遊び、定期的な予防診療で成長を支えます。ワクチン、寄生虫予防、避妊去勢は病院の案内に従います。成長中は必要がすぐ変化します。

若い成猫：1〜6歳

計量した食事、毎日の遊び、清潔なトイレ、定期健診の習慣を整えます。食事や活動は品種で決めず、体型、外出環境、健康、猫の反応に合わせます。

成熟期：7〜10歳

定期健診を続け、食欲、飲水、体重、毛づくろい、動き、トイレ習慣の変化を記録します。健診間隔や検査を変えるべきか獣医師に確認します。

シニア：10歳超

食事、水、トイレ、お気に入りの休息場所へ行きやすくします。健診頻度を獣医師と相談し、食欲、快適さ、睡眠、動き、社会行動の小さな変化も記録します。新しい症状を年齢だけのせいにしないでください。

高齢または虚弱な猫（年齢を問わず）

快適さ、暖かさ、必要な場所への移動のしやすさを優先し、必要なら毛づくろいやトイレを手伝います。痛み、夜間の覚醒、生活の質を獣医療チームと相談し、若い猫の活動目標を当てはめないでください。

受診が必要なサイン

口を開けた呼吸や呼吸困難、倒れる、けいれん、大きなけが、後ろ脚が急に動かない場合は救急受診してください。 何度もいきむのに尿が少ない、または出ない場合は尿路閉塞の可能性があります。朝まで待たず、すぐに救急受診してください。

食べない、嘔吐を繰り返す、行動が大きく変わる、痛みが続く場合は早めに病院へ。子猫、高齢猫、持病がある猫はより迅速な判断が必要なことがあります。

睡眠と静かな休息

休息時間は機会の例で、睡眠目標や閉じ込め時間ではありません。他の時間も休めます。夜間を含む食事、排泄、介助を優先してください。

調整できる一日の例

予定時刻	ケア / 合意した量
22:45–06:30	睡眠と静かな休息
09:00–12:00	睡眠と静かな休息
14:00–17:00	睡眠と静かな休息
20:30–21:30	睡眠と静かな休息

共有ケア記録用紙

共有ケア記録用紙

予定時刻	ケア / 合意した量	実際の時刻 / 担当者	メモ / 次の対応

出典・参考情報

- TICA
- AAFP/ISFM
- AAHA/AAFP
- Cornell Feline Health Center
- FDA
- Merck Veterinary Manual
- AAHA
- AAHA

AIの支援とAI生成のオリジナルイラストで作成。独立した獣医師や母語話者の校閲は受けていません。個別の獣医師の計画に従ってください。